

東京都における2011年の  
麻疹流行  
**2011年10月13日**

東京都健康安全研究センター  
住友 眞佐美

# 東京都における麻しん対策

## 【目標】 東京から麻しん排除

### 【具体的な取り組み】

#### 1 平常時からの取り組み

- ① 麻しんに関する正しい知識の普及
- ② 予防接種の接種率向上の取り組み(普及啓発等)
- ③ 予防接種歴・罹患歴の把握
- ④ 人材育成

#### 2 麻しん患者発生時の取り組み

- ① 積極的疫学調査・・・PCR検査の実施
- ② 予防接種の働きかけ
- ③ 施設・学校等に対する感染拡大防止のための指導・助言  
臨時休業・集団予防接種の実施 等
- ④ 都民・医療機関等への周知

# 麻しんの病原体レファレンス

平成22年7月

麻しんの病原体レファレンス事業を独自に開始

対象者：麻しんと臨床診断例のうち、

検体採取に同意が得られた者

検査検体：咽頭ぬぐい液・血液・尿

検査方法：PCR法等による麻しんウイルス検査

実施方法

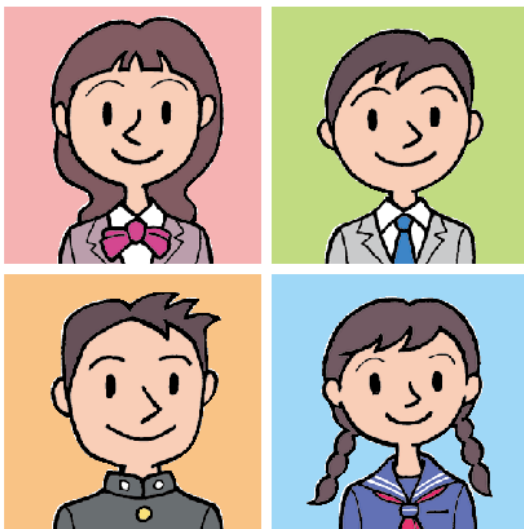
- ・医療機関の医師または保健所の医師が検体採取
- ・チルド便にて東京都健康安全研究センターに送付
- ・センターで検査を実施、結果は所管保健所に通知


※平成22年12月以降 国の通知に基づき実施

## 都民等への普及啓発

# 中学・高校における 麻しん対策の手引

～感染症から生徒を守るために～



 東京都福祉保健局

## 関係機関等への情報提供



### 感染症通信

2011年4月14日発行  
第8号

東京都健康安全研究センター疫学情報室

#### この号の内容

- 1 麻しん(輸入例:フランス)
- 2 麻しんウイルス分離・検出状況
- 3 フランスにおける麻しん患者報告

#### 1 麻しん(フランスを推定感染地とする輸入例について)

4月に入り第14週(診断週)に、フランスを推定感染地とする輸入例が2例報告されました。いずれも単発事例で、周囲への感染の広がりには現在調査中です。2例ともフランス国籍で、フランスから出国後、日本で発症しました。

検出された麻しんウイルスの遺伝子型は2例ともD4型でした。このD4型は現在ヨーロッパで流行している遺伝子型と一致しています。疫学的情報と分子疫学結果からフランスで感染の後、日本で発症したと考えられます。

このほかに第13週に報告された1例は、日本国内での感染が推定されていますが、遺伝子型はD4型で、発症2週間前にドイツ・スイス・フランスへの渡航歴があり、フランスでの感染も十分に考えられます。国外での感染が疑われる患者を感染源として国内で感染が広がった事例が過去に確認されているため、関係機関の協力のもと、疫学調査と遺伝子型の解析を継続し、流行状況の把握に努めるとともに感染拡大防止策を講じることが重要です。またあわせて、予防策として麻しん含有ワクチン接種率向上にも今まで以上に取り組んでいく必要があります。

#### 2 麻しんウイルス分離・検出状況

【東京】2010年に当センターで分離・検出された麻しんウイルス遺伝子型は3件で全てA型(ワクチンタイプ)でした。2011年には、D4型4件(推定感染地:イギリス1件、フランス2件、国内1件)、D9型6件(推定感染地:国内4件、国内及びフィリピン1件、シンガポール・スリランカ1件)が報告されています。

【全国】2008～2008年にD5型が国内例から多数検出されました。2009年以降、輸入例が増加し、2010年にはD9型14件(フィリピン由来)、H1型2件(中国由来)、D4型1件(インド由来)、D8型1件(インド由来)が報告されました。また、A型(ワクチンタイプ)も検出されています(IASR Vol. 32 p. 31-32: 2011年2月号)。

2011年1～4月には、D4型3件(ヨーロッパ由来)、D8型1件(オーストラリア由来)、D9型23件(フィリピン等由来)、G3型(インドネシア由来)1件、A型(ワクチンタイプ)2件が報告されています。

【ヨーロッパ】D4-Manchester 変異株が、2008年以降、西部・中部ヨーロッパで検出されており、2010年にはフランスで数回検出されています(IASR Vol. 32 p. 50: 2011年2月号)。

#### 【参考】麻しんウイルスの遺伝子

麻しんウイルスの遺伝子検出には、ウイルス表面の糖蛋白質であるヘマグルチニン(H)遺伝子と核蛋白質であるヌクレオプロテイン(N)遺伝子が用いられます。これらのうち、N遺伝子の配列によって型別が行われており、現在A～Hまでの23の遺伝子型に分類されています。

# 平成23年の麻しんの流行について

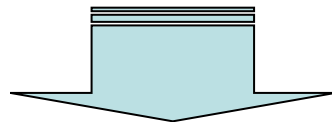
## ➤ 3月下旬 第13週(受理週)

ヨーロッパへの渡航歴がある日本人症例が1例報告

## ➤ 4月初旬 第14週

フランスを推定感染地とするフランス人症例が2例報告

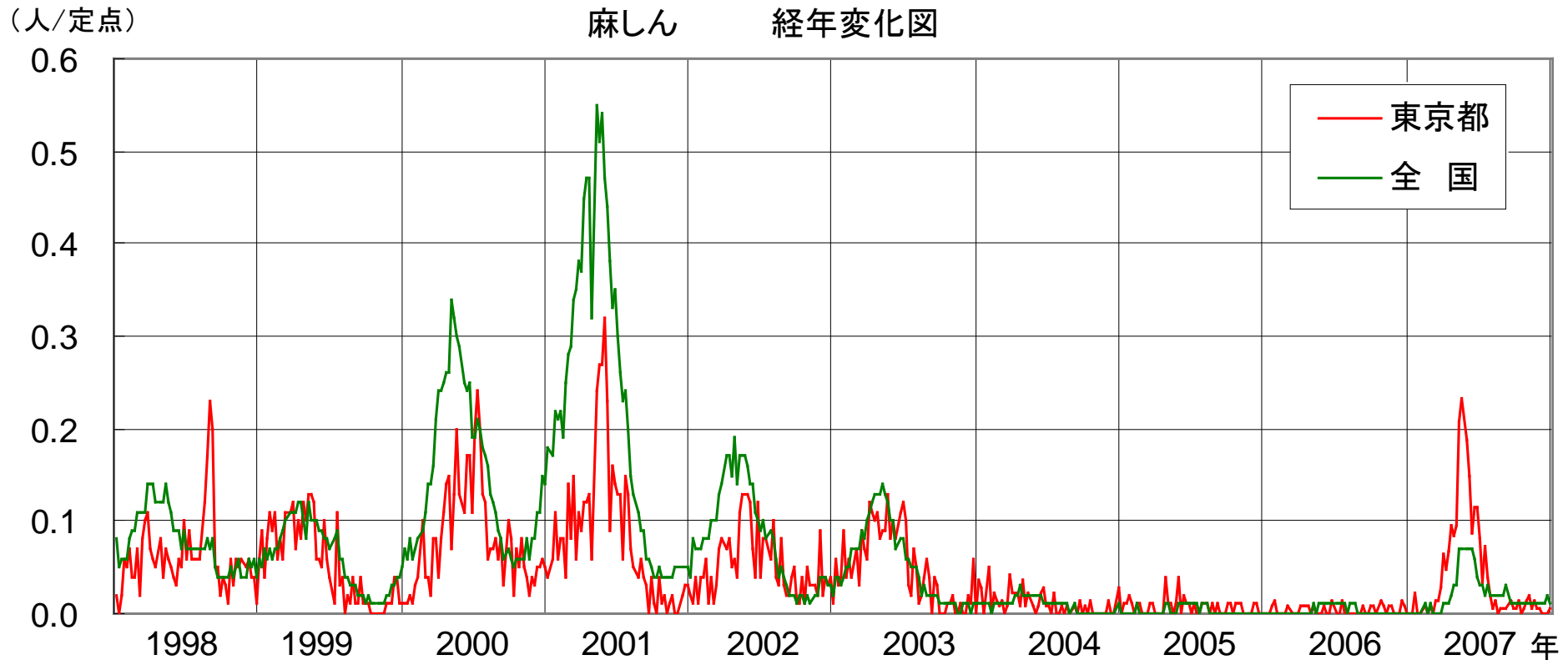
※ 3例とも麻疹PCR陽性で遺伝子型はD4型



第15週には、14例の麻疹発生届受理

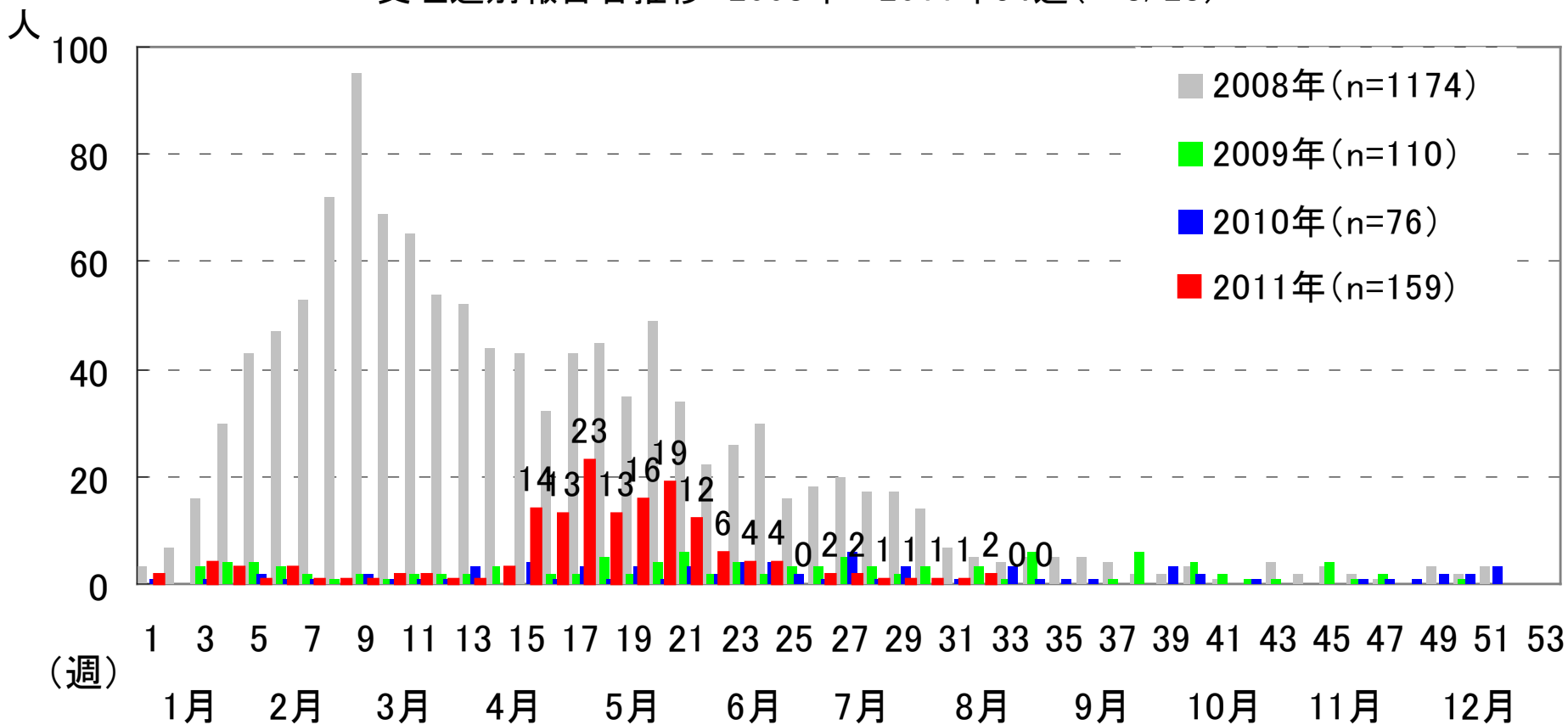
# 麻疹患者報告数

(小児科定点報告: 1998年～2007年)

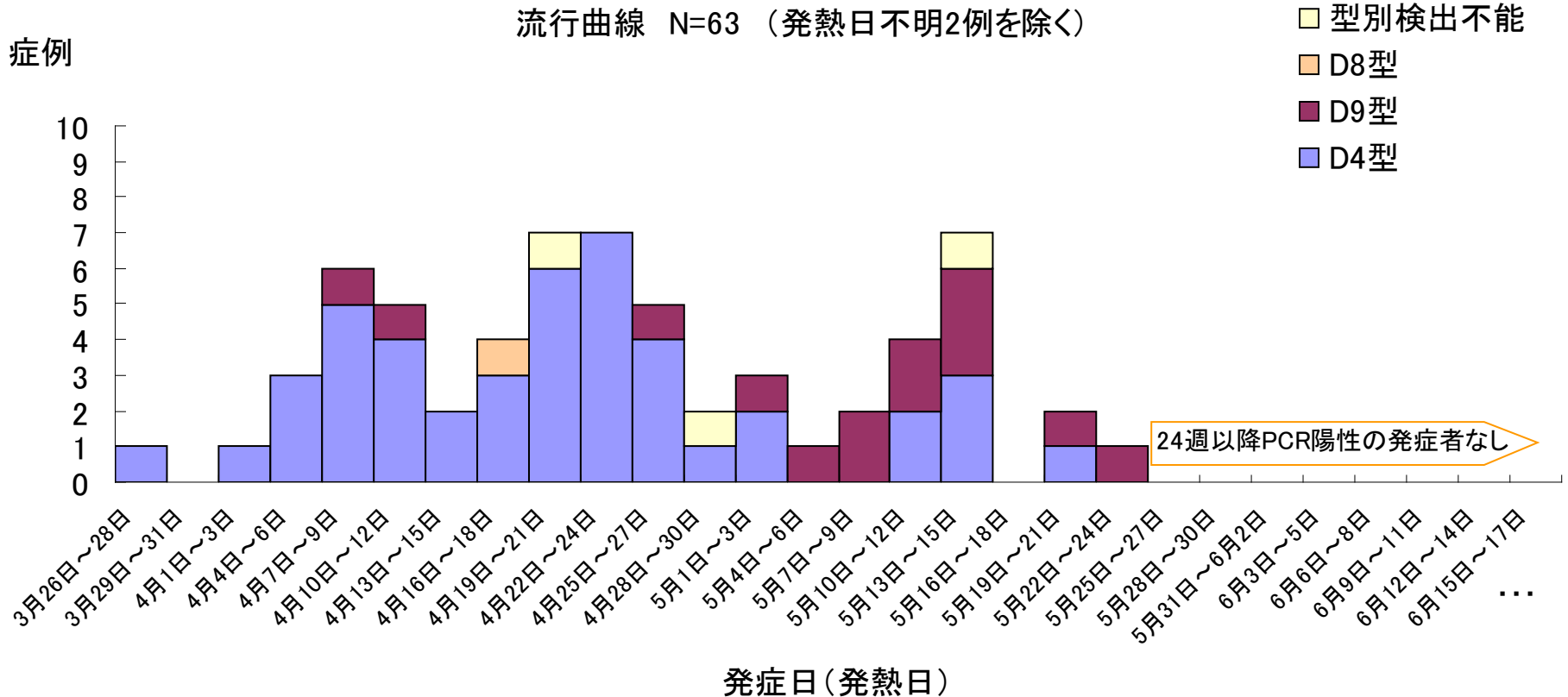


# 麻しん患者報告数 (全数報告:2008年~2011年34週)

受理週別報告者推移 2008年~2011年34週(~8/28)



# 麻疹遺伝子型別の流行状況 (2011年13週～34週)



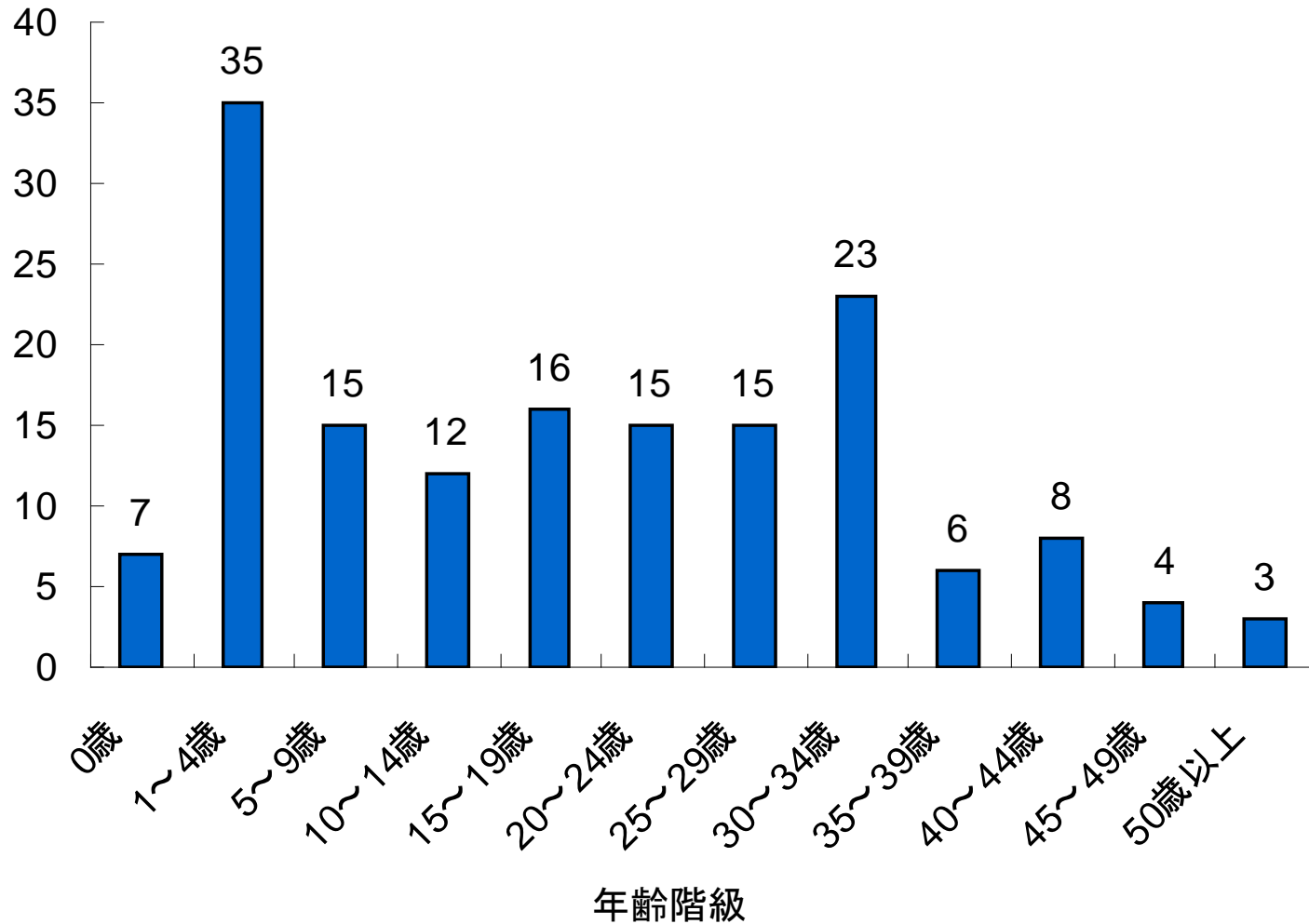
※24週以降34週までPCR陽性の発症者はいない。



# 年齢階級別の麻しん発生状況 (2011年1週～34週)

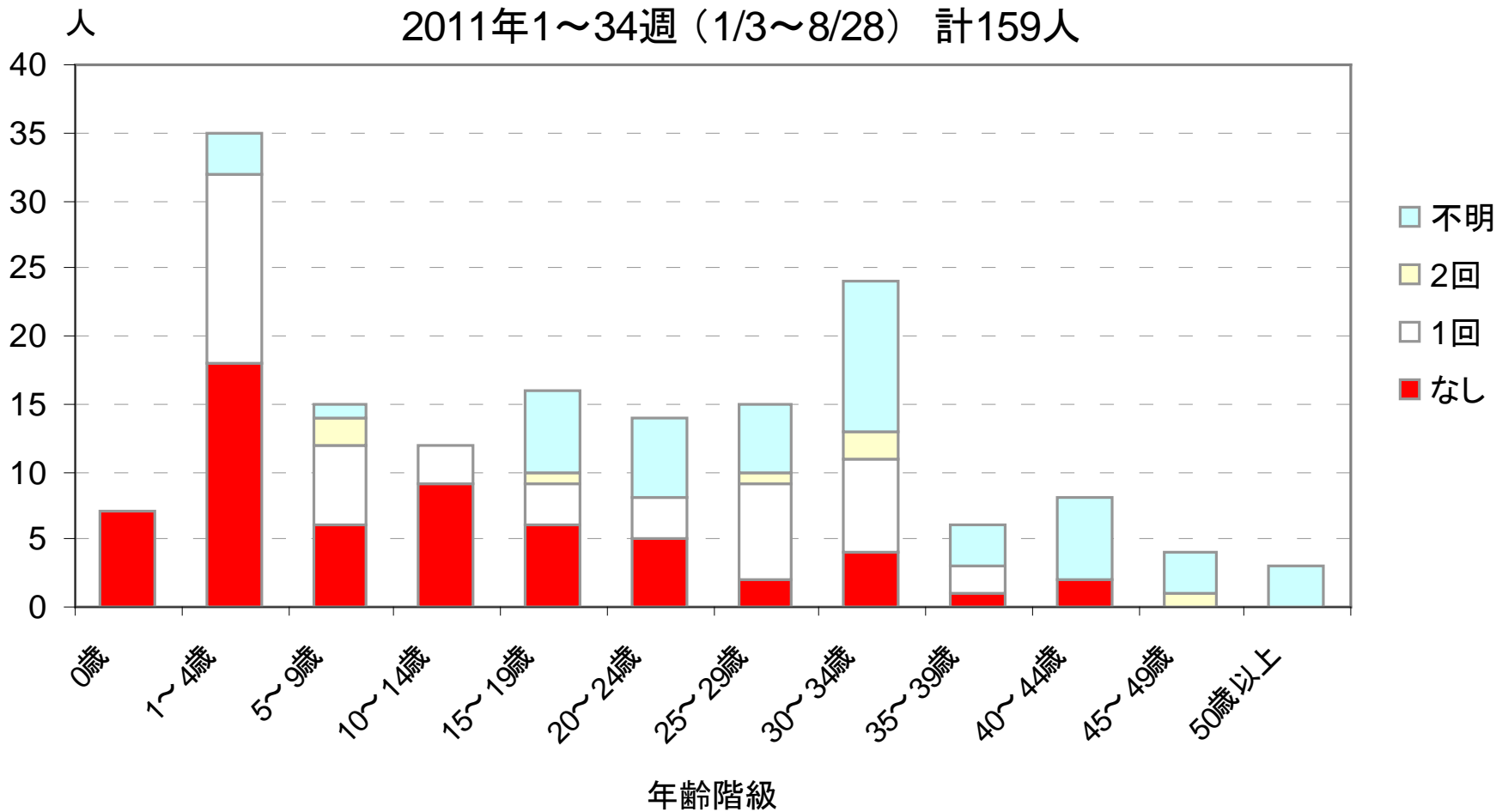
年齢階級別 2011年1～34週 (1/3～8/28) 計159人

人



# 年齢階級別・ワクチン接種歴別発生状況 (2011年1週～34週)

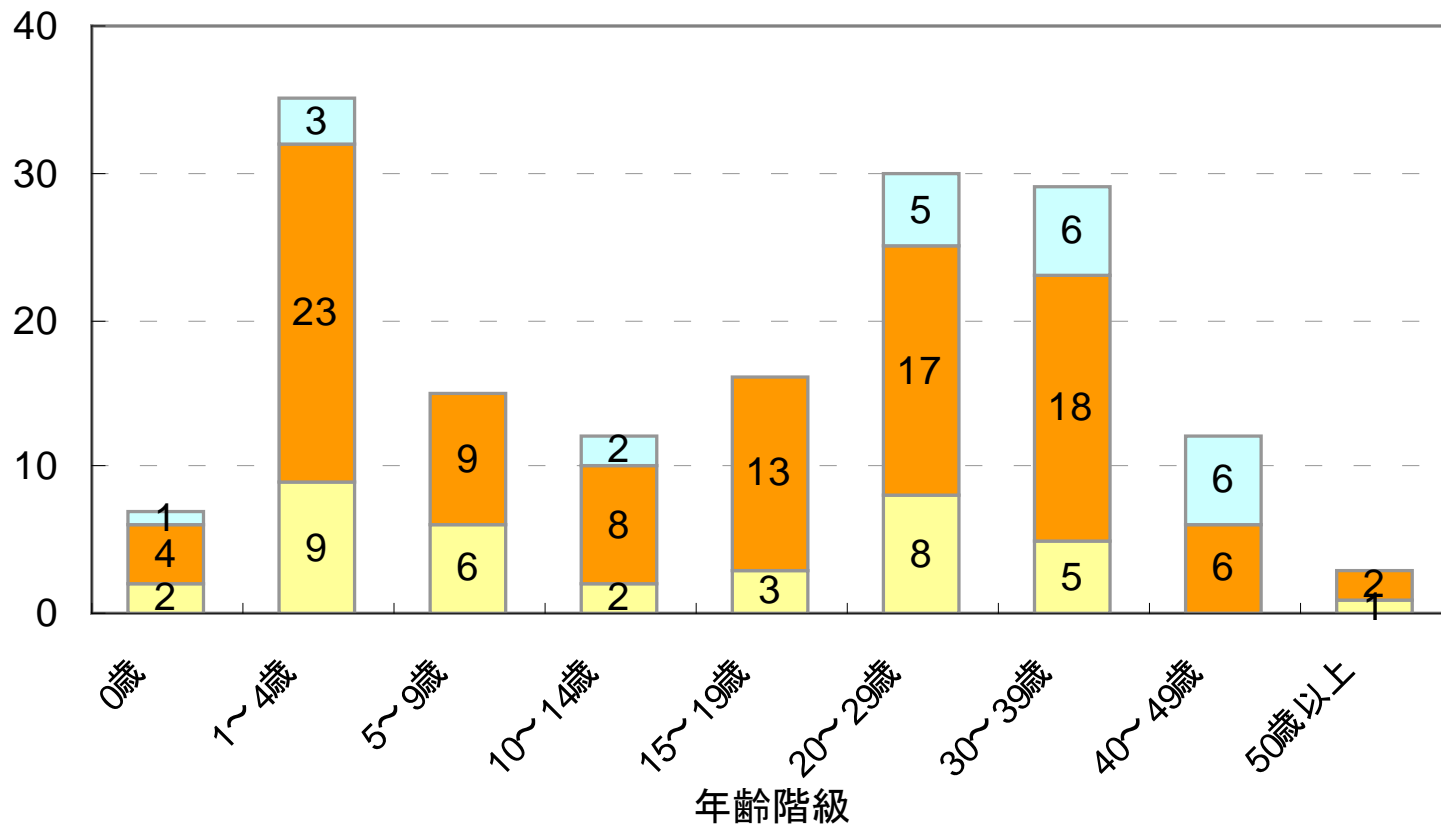
年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数  
2011年1～34週 (1/3～8/28) 計159人



# 年齢階級別・病型別発生状況 (2011年1週～34週)

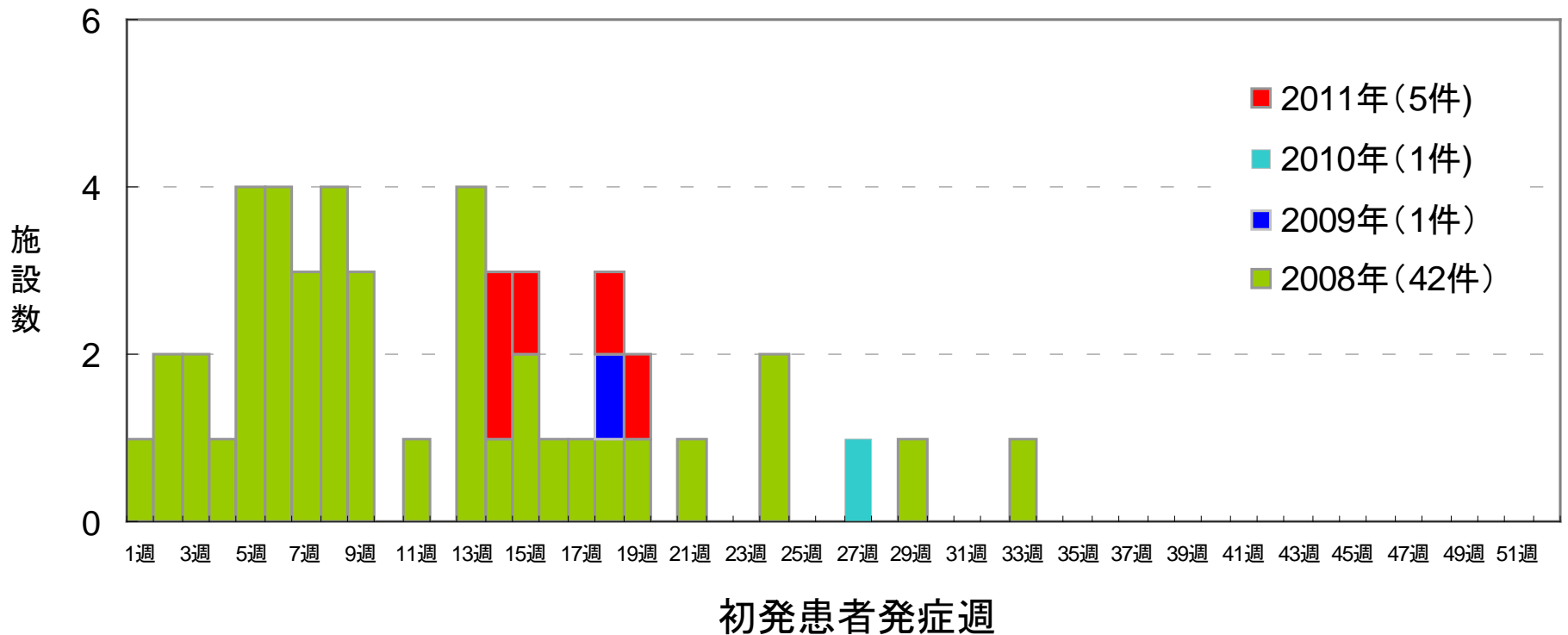
年齢階級別・病型別報告数  
2011年1～34週 (1/3～8/28) 累計 計159人

- 修飾麻しん(検査診断例)
- 麻しん(検査診断例)
- 麻しん(臨床診断例)



# 学校等における発生状況 (2011年1週～34週)

麻しん患者2人以上の施設数: 2008年～2011年34週(～8/28)



# 麻疹ウイルスPCR検出状況 (2011年1週～34週)

受理週	D4型	D9型	D8型	型別検出 不能	推定感染地域
3週	1	1			D4: イギリス、D9: シンガポール・スリランカ
4週		1			D9: 国内及びフィリピン
5週		1			D9: 国内
6週		1			D9: 国内
11週		2			D9: 国内
13週	1				D4: 国内
14週	2				D4: フランス
15週	8				D4: 国内
16週	9	2		1	D4: 国内、D9: フィリピン、グルジア、型別検出不能: 国内
17週	13		1		D4: 国内、D9: 国内、D8: タイ
18週	7	1			D4: 国内
19週		6		1	D9: 国内、型別検出不能: 国内
20週	5	4		1	D4: 国内、D9: 国内、インドネシア、型別検出不能: 国内
21週	1	2			D4: 国内、D9: 国内
計	47	21	1	3	

# 麻しんPCR検査実施状況 (2011年13週～33週)

2011年第13週から33週(保健所受理週)の週別麻しん遺伝子検査結果内訳 (N=194)

